

建設業の魅力をPR

さいたま市立大宮西中でキャラバン

報協 協議 戦略的推進

国土交通省や建設業団体で構成する「建設産業戦略的広報推進協議会」は8月31日、さいたま市

立大宮西中学の1年生約140人、2年生約170人、計310人を対象に、学校キャラバンを開催し、建設業の役割や素晴らしさ、魅力等をPRした。

同キャラバンは、生徒に建設業の社会的な役割やものづくりの素晴らしさを直接語りかけ、交流



するプログラム。建設産業の担い手の確保・育成につながる広報活動の一環で、14年度から展開している。今回、中学校での開催は通算2校目、学校キャラバン全体では通算10校目の開催となる。

今回の大宮西中学校では、JMの協力を得て、生徒らはドローン飛行や工事現場バーチャルリアリティ体験をしたほか、大和ハウス工業の協力のもと、重いものを軽々と持てるようになるロボットスーツを装着しその性能を体感。埼玉県左官業協会も協力し、生徒らは「しっくい」と「こて」を使った壁塗りも体験したII写真。

このほかに生徒らは、佐藤興業（東京・神田）の協力で、ステンシリング工法による塗装を体験、日本工業大学の協力のもと、CADも体験した。